

ZEPHYROS

ゼフュロス No.58

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

2014年2月20日発行

ISSN1342-8071



ジャック・カロ
Jacques Callot: Theater of Realism and Fantasy
リアリズムと奇想の劇場

「ジャック・カローリアリズムと奇想の劇場」



《インブルネータの市》
1620年 エッチング

ジャック・カロ（1592年 - 1635年）は、西洋美術史を代表する版画家のひとりです。現フランスの一部であるロレーヌ公国に生まれますが、若い頃にローマに出て修業し、次いでフィレンツェでも活動しました。フィレンツェでは、トスカーナ大公コジモ2世・デ・メディチに才能を認められ、宮廷付きの版画家として、前大公のフェルディナンド1世・デ・メディチの生涯を描く版画連作の制作や、宮廷主催の祝祭の記録などにあたっています。即興喜劇コメディア・デラルテの役者たちに取材した諸作品や、細密描写を駆使した傑作《インブルネータの市》が生まれたのもこの時期でした。1621年頃には、主君の死を受けて故郷ロレーヌ地方に戻りますが、以降も宮廷や聖職者たちのために作品を手掛け、精力的に活動を続けます。カロの庇護者の

中には、ロレーヌ地方のみならず周辺諸国の貴顕たちも含まれており、その名声の高さうかがわれます。1630年代には、17世紀ヨーロッパを暗い影で包んだ戦争に取材した《戦争の悲惨（大）》連作や、奇怪な悪魔たちが跋扈する《聖アントニウスの誘惑（第二作）》などの大作も次々と制作しましたが、その後もまもなく、わずか40年あまりの生涯を閉じることとなりました。

短くも華やかなキャリアから生み出されたカロの作品は、1,400点以上にのぼります。多



《絞首刑》〈戦争の悲惨（大）〉連作より 1633年出版 エッチング



《ボーン・ヌフの見える光景》〈パリの景観〉連作より 1629年頃 エッチング

彩な主題を扱ったそれらの作品は、ときに現実を鋭く映し、ときに奇想に富んだ世界を創りあげ、あるいは両者の入り混じる表現をみせます。さらに、カロは、試行錯誤を重ね、腐食銅版画（エッチング）の技法に新境地を開いたことでも版画史上に名前を残しました。この新しい技法から生み出された、ときに明暗を鮮やかに対比し、ときに柔らかな空気の広がりや詩情豊かに描き出す線の表現の美しさは、見るほどに深い驚きをもたらします。

本展覧会は、国立西洋美術館が所蔵するカロの版画作品により構成されます。初期から晩年までのカロの活動の軌跡を、年代と主題というふたつの側面からご紹介します。作品の魅力と美術史上の意義を掘り下げるとともに、彼の作品をとおして、当時の時代の諸相に向けられたそのまなざしを探っていくことも、この展覧会の狙いです。

（国立西洋美術館研究員 中田 明日佳）



《ド・ヴロンクール殿、ティヨン殿、マリモン殿の入場》
〈槍試合〉連作より 1627年出版 エッチング

表紙

ジャック・カロ《二人のザンニ》
1616年頃 エッチング

ジャック・カローリアリズムと奇想の劇場

一般 600円 (400円)

大学生 300円 (150円)

*小・中学生・高校生および18歳未満、心身に障害のある方および付添者1名は無料（入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。）

*（ ）内は20名以上の団体料金

*本展の観覧券で、「非日常からの呼び声」展、常設展示も併せてご覧いただけます。

掲載作品（すべてジャック・カロ）

会期：2014年4月8日（火）～6月15日（日） 企画展示室

「非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品」



ウジェーヌ・ドラクロワ
《墓に運ばれるキリスト》
1859年 油彩/カンヴァス



ヴィルヘルム・ハンマースホイ
《ピアノを弾く妻イダのいる室内》
1910年 油彩/カンヴァス

国立西洋美術館の展覧会は通常、研究員（キュレーター）が企画・構成を行います。今回は趣向を変え、ゲスト・キュレーターの方に当館の所蔵品の展示をお任せすることにしました。

当館が白羽の矢を立てたのは、若手世代を代表する作家の平野啓一郎氏です。平野氏はデビュー作である1998年の『日蝕』以来、西洋文化に対する深い知識を踏まえた作品をいくつか発表しています。とりわけ2002年刊行の『葬送』はショパンとドラクロワ、ジョルジュ・サンドの関係を軸とした小説であり、19世紀のパリを主な舞台として、各々の心理とともに美術・音楽作品の数々が活写されています。一方、氏は字間や余白を工夫するなど、小説の視覚的な要素に関する視覚的な実験も行ってきました。こうした平野氏の西洋文化（とくに美術）に対する造詣や関心を、「非日常からの呼び声」という氏自身が選んだテーマのもとに、展覧会という場で発揮していた

できます。

画家や彫刻家は、非日常の姿を想い起こす手がかりとするために、あるいは自らが現実から逃避する手段として、作品を制作することが多々ありました。神を見つめ、あるいは幻影を見る聖人たち。死の表象としての死神。生きることに疲れ、あるいは愛に忘我となる作者自身を投影した人物たち。平野氏によるセクション分けと解説によって、彼らの声に耳を傾け、そして日常を離れた世界に想像をめぐらせてください。そして当館の所蔵品を新たな視点から見直していただければと思います。

（国立西洋美術館主任研究員 渡辺 晋輔）

非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品

一般 600円（400円）

大学生 300円（150円）

*小・中学生・高校生および18歳未満、心身に障害のある方および付添者1名は無料（入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。）

*（ ）内は20名以上の団体料金

*本展の観覧券で、「ジャック・カロ」展、常設展示も併せてご覧いただけます。

ボランティア体験記 美術トーク

『この人物、手に何か持っていますね、何に見えますか?』『細長いものだね』『木の棒に見えるけど…』『ナイフじゃないかな?』『なぜそう思われましたか?』『だって、手にすごく力が入っているから…』

美術トークの際、私は必ずお客様へ問いかけをします。そして、お客様が答えてくださる内容に、はっ!とすることがあります。

『本当だ、腕の筋肉がこわばっている。今まで、気がつかなかった…こんなに細かなところまで見てくださっているのだ…』

トーク終了後、お客様からお声をかけていただくことがあります。「説明を聞きながら作品を見たら、作品の見方が変わりました」

涙が出そうなくらい、うれしいお言葉です。

でも、お客様との会話を通じ、皆様の視点を知ることで絵の見方が変わったのは、何を隠そうボランティアである私自身なのです。

問いかけに対し、「わかった!」と満面の笑みを浮かべて応えてくれる子供達や、作品の細かなところに隠された時代背景や画家の思いをお伝えした時、「へー面白い」と目を輝かせてくださるお客様方を拝見するにつけ、美術作品が持つ力の大きさを実感します。

同時に、ボランティアの仕事の意義を再認



識し、もっともっとお客様が作品を楽しめるようお手伝いをしたいと気持ちを締めめます。

一人で静かに作品を鑑賞する贅沢なひと時も貴重です。でも時には、作品が制作された時代にタイムスリップして、皆様で意見を交換しながら作品をみっていると、今まで見えなかった新たな発見があるかもしれません。

人と人との出会いは一期一会です。

週末の昼下がり、ボランティアスタッフや、他のお客様と一緒に、美術トークで楽しく作品を見てみませんか?

(国立西洋美術館ボランティア 畑中 たまき)

美術トーク

ボランティアスタッフによるギャラリートークです。常設展示室の作品5～7点を、参加者の皆さんと一緒に鑑賞していきます。

日時：第1・第3・第5土曜日および毎週日曜日
(開館時) 14:00～(約50分)

集合場所：常設展示室の改札入口

美術トークには事前の整理券は必要ありません。

どうぞお気軽にご参加ください。

※都合により中止とさせていただくことがあります。

詳細は当館ホームページをご確認ください。



EVENT イベント

展覧会に関連して次のプログラムを実施いたします。ぜひご参加ください。

ジャック・カローリアリズムと奇想の劇場

● 講演会

日 時: **4月26日(土) 14:00~15:30**

中田 明日佳(国立西洋美術館研究員)

「カロ作品に映された17世紀前半のヨーロッパ」

日 時: **5月31日(土) 14:00~15:30**

栗田 秀法(名古屋大学大学院教授)

「バロック美術のなかのジャック・カロ」

会 場: 国立西洋美術館講堂(地下2階)

定 員: 各回先着 140 名(聴講無料、ただし聴講券と本展の観覧券が必要です。)

参加方法: 当日 12:00 より、館内インフォメーションにて、本展の観覧券をお持ちの方お一人につき一枚聴講券を配布します。会場へは開演の 30 分前からご入場いただけます(自由席)。

● スライド・トーク

展覧会のみどころや主な作品について、スライドを使って解説します。

日 時: **4月11日(金)、4月25日(金)、5月16日(金)、5月30日(金) 各回18:00~(約30分)**

会 場: 国立西洋美術館講堂(地下2階)

解 説: 中田 明日佳(国立西洋美術館研究員)

定 員: 各回先着 140 名(聴講無料。本展の観覧券をお持ちのうえ、直接会場にお越しください。)

※ 17:30 開場

● レクチャー・コンサート

展覧会のおもな作品に基づきながら、カロの作品や時代を音楽の側面から読み解くレクチャー・コンサートです。

日 時: **5月22日(木)**

18:00 ~ 20:00

料 金: 1500 円(税込)

4月22日(火) から、

館内インフォメーションにて発売

演 奏: 景山 梨乃(ハープ)

レクチャー: 瀧井 敬子(東京藝術大学客員教授)

※チケットは、館内インフォメーションのみでの販売となります。電話等による事前予約や郵送等による販売は行っておりません。

場 所: 国立西洋美術館企画展示ロビー

※チケットの払い戻し、再発行は致しません。

定 員: 100 名(全席自由)

※枚数限定につき売り切れの場合はご容赦ください。

※展覧会の観覧については、別途観覧券が必要です。

非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品

● 講演会

日 時: **5月24日(土) 14:00~15:30**

平野 啓一郎「非日常からの呼び声」

会 場: 国立西洋美術館講堂(地下2階)

定 員: 先着 140 名(聴講無料、ただし聴講券と本展の観覧券が必要です。)

参加方法: 当日 12:00 より、館内インフォメーションにて、本展の観覧券をお持ちの方お一人につき一枚聴講券を配布します。会場へは開演の 30 分前からご入場いただけます(自由席)。

※イベントの内容等は変更となる場合があります。

最新の情報は国立西洋美術館ホームページまたはハローダイヤル(03-5777-8600)でご確認ください。

Museum shop

ミュージアム
ショップ

新商品

●フローティングペン 3種類

800円 (税抜)

ペンを傾けると、中のフローティングが変化する楽しいボールペン。

国立西洋美術館の所蔵作品と外観をイメージしたオリジナルデザインとなっております。



睡蓮



サン・トロペの港



国立西洋美術館外観



●考える人 ボールペン

715円 (税抜)



軸を回転させるタイプのシンプルなボールペン。

ポケットや手帳に差した際に、小さな「考える人」がさりげなく覗きます。

シックなデザインで男性にも人気の商品です。



Café

カフェすいれん



「ジャック・カローリアリズムと奇想の劇場」展
特別メニュー

期 間 4月8日 (火) ～ 6月15日 (日)

●プレーンオムレツ 1,400 円 (税抜)

(1日30食限定)

スープ、サラダ、自家製パンまたはライス付き

チーズと玉ねぎのたっぷり入ったオムレツです。ベースはトマト、玉ねぎ、にんじん、セロリ、にんにくを煮込んだトマトソース。果実の中にスパイシーな香りも感じるふくよかな赤ワインとあわせてどうぞ。

●フランスワイン：シャトー・デ・ジラレ ルージュ

グラス 600円 (税抜) ボトル 3,000円 (税抜)

チケット売場、館内施設 (常設ミュージアムショップ、カフェすいれん) で Suica、各種クレジットカードがご利用いただけます。(ただし、一部除外品がございます。) 詳細については、当館ホームページをご覧ください。

展示カレンダー [企画展示/常設展示]

2014年2月～7月

休館日 土日・祝日

FEB	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2	国立西洋美術館×ポーラ美術館 モネ、風景をみる眼—19世紀フランス風景画の革新—3月9日(日) (企画展示室) 生誕150周年記念 国立西洋美術館所蔵 エドヴァルド・ムンク版画展 ～3月9日(日) (新館2階 版画素描展示室) 常設展一部(本館)閉室 ～3月9日(日)																														
MAR	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
3	国立西洋美術館×ポーラ美術館 モネ、風景をみる眼—19世紀フランス風景画の革新—3月9日(日) (企画展示室) 生誕150周年記念 国立西洋美術館所蔵 エドヴァルド・ムンク版画展 ～3月9日(日) (新館2階 版画素描展示室) 常設展一部(本館)閉室 3月9日(日)まで/全館休館 3月10日(月)～3月24日(月)																														
APR	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
4	ジャック・カロ—リアリズムと奇想の劇場 4月8日(火)～6月15日(日) (企画展示室) 非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品 4月8日(火)～6月15日(日) (企画展示室)																														
MAY	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
5	ジャック・カロ—リアリズムと奇想の劇場 4月8日(火)～6月15日(日) (企画展示室) 非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品 4月8日(火)～6月15日(日) (企画展示室)																														
JUN	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
6	ジャック・カロ—リアリズムと奇想の劇場 4月8日(火)～6月15日(日) (企画展示室) 非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品 4月8日(火)～6月15日(日) (企画展示室)																														
JUL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
7	橋本コレクション 指輪 神々の時代から現代まで—一時を超える輝き— 7月8日(火)～9月15日(月・祝) (企画展示室)																														

●臨時開館・臨時休館・一部閉室のお知らせ

2013年11月6日(水)～2014年3月9日(日)は施設整備のため本館展示室を閉室します。
3月10日(月)～3月24日(月)は館内整備のため全館休館します。
3月31日(月)は開館いたします。

●常設展示 [新館]

3月9日(日)まで、常設展は新館のみで開催しています。ロダンやブールデルの彫刻と、中世末期から20世紀初頭までの西洋絵画をご覧ください。
(展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。)

※展覧会名、会期、展示内容等は変更されることがあります。

※作品の保存・貸し出し等の状況により、掲載された作品をご覧いただけない場合がございます。

常設展観覧料改定のお知らせ

2014年4月1日(火)からの消費税増税に伴い、常設展観覧料を一部改定いたします。
一般個人 420円→430円 一般団体 210円→220円 (4月1日(火)から実施)

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…午前9時30分～午後5時30分
毎週金曜日…午前9時30分～午後8時
※入館は閉館の30分前まで
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)
※その他、臨時に休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600
<http://www.nmwa.go.jp/>

※誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフュロス)はギリシャ神話の神々のひとりで、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色ざまざまの花々を運び春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第58号

編集・発行 国立西洋美術館/2014年2月20日(年4回発行)
協力 公益財団法人 西洋美術振興財団
印刷 (株)アイネット



国立西洋美術館
The National Museum of Western Art